

平成 29 年度浜岡原子力発電所周辺環境安全連絡会事業計画（案）

浜岡原子力発電所周辺環境安全連絡会は、島田市、磐田市、焼津市、藤枝市、袋井市、吉田町及び森町（以下「5市2町」という。）の地域における環境の安全を確認し、住民の安全・安心を確保するため、次の事業を行う。

- 1 県・四市協定に基づく「静岡県原子力発電所環境安全協議会にて確認された調査結果」の確認
- 2 5市2町の地域における環境放射能調査結果の確認

（環境放射能の測定）

- (1) 県及び5市2町が実施する環境放射能の測定

種 類	地点数
環境試料（農畜産物等）中の放射能	24 地点
空間放射線量率（連続測定）	6 地点
空間放射線量の積算線量（3 か月間毎）	10 地点

- (2) 中部電力株式会社が実施する環境放射能の測定

種 類	地点数
環境試料（上水・土壌）中の放射能	28 地点

(環境放射能の測定)

(1) 県及び5市2町が行う環境放射能の測定

平成 29 年度UPZ圏内（10km 以遠）環境放射能調査計画

1 目的

【平常時の環境放射能レベルの把握】

原子力発電所から予期しない放射性物質又は放射線の放出があった場合に、その影響を的確かつ迅速に評価するため、平常時の環境放射能レベルを把握する。

【緊急時モニタリング体制の整備】

緊急事態等が発生した場合に、平常時モニタリングの強化及び緊急時モニタリングの実施へ迅速に移行できるよう、平常時からこれらの事態を見据えた環境放射線モニタリング体制を整備する。

2 試料採取及び測定機関

(1) 試料採取機関

県（環境放射線監視センター）及び5市2町

(2) 測定機関

県（環境放射線監視センター）

3 調査期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

4 調査内容

以下の測定項目について、静岡県環境放射能測定技術会が定める「環境放射能測定法」に準じて実施する。

(1) 空間放射線量の測定

空間ガンマ線測定装置による線量率（12 地点）

蛍光ガラス線量計による積算線量（22 地点）

(2) 環境試料中の放射能の測定

機器分析によるガンマ線放出核種の放射能（32 地点）

※UPZ：Urgent Protective action Zone（緊急時防護措置を準備する区域）

静岡県では、静岡県地域防災計画（原子力災害対策の巻）において、浜岡原子力発電所から概ね半径 31km に含まれる自治区等を指定している。

測定（採取）地点一覧表

1 空間ガンマ線測定装置による線量率（12 地点）

No.	測定地点名	市 町
1	磐田市福田支所	磐田市
2	袋井市役所	袋井市
3	森町飯田総合センター	森 町
4	掛川市役所	掛川市
5	掛川市大須賀支所	
6	掛川市倉真	
7	菊川市役所	菊川市
8	富士山静岡空港	牧之原市
9	牧之原市萩間小学校	
10	島田市中央公園	島田市
11	吉田町役場	吉田町
12	焼津市大井川庁舎北	焼津市

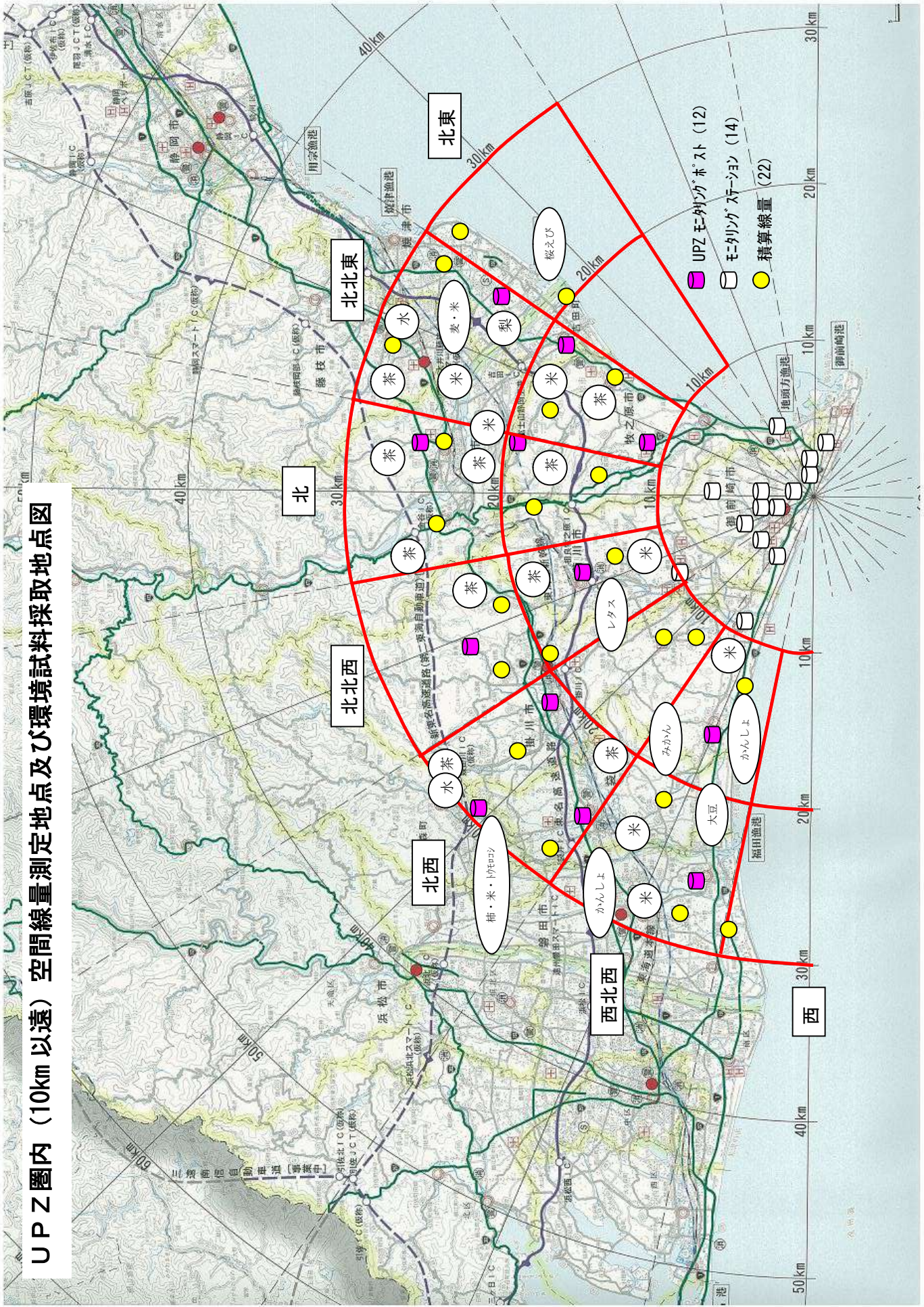
2 蛍光ガラス線量計による積算線量（22 地点）

No.	測定地点名	市 町
1	磐田市大中瀬	磐田市
2	磐田市大原	
3	袋井市上山梨	袋井市
4	袋井市浅名	
5	掛川市富部	掛川市
6	掛川市大渕	
7	掛川市上西郷	
8	掛川市金城	
9	掛川市下土方	
10	掛川市大坂	
11	掛川市八坂	
12	菊川市東横地	菊川市
13	菊川市倉沢	
14	島田市金谷代官町	島田市
15	島田市中央町	
16	牧之原市東萩間	牧之原市
17	牧之原市坂部	
18	牧之原市静波	
19	藤枝市岡出山	藤枝市
20	吉田町川尻	吉田町
21	焼津市道原	焼津市
22	焼津市田尻北	

3 機器分析によるガンマ線放出核種の放射能（32 地点）

試料名	採取予定時期	採取地点
茶葉	4 月	牧之原市東萩間
		牧之原市勝間田
		菊川市堀之内
		掛川市日坂
		袋井市豊沢
		藤枝市谷稲葉
		島田市湯日
		島田市横岡
		島田市大草
		森町睦実
とうもろこし	6 月	森町飯田
麦	7 月	焼津市上小杉
梨	8 月	焼津市上泉
かんしょ	9 月又は 10 月	掛川市沖之須
		磐田市見付
玄米	9 月又は 10 月	森町飯田
		菊川市上平川
		掛川市大坂
		吉田町川尻
		吉田町神戸
		島田市阪本
		袋井市新池
		磐田市上大之郷
		焼津市上小杉
		藤枝市高柳
柿	11 月	森町飯田
大豆	11 月	袋井市大野
レタス	12 月	菊川市中内田
みかん	12 月	袋井市山崎
上水	9 月	森町飯田
	1 月	藤枝市岡出山
さくらえび	12 月	焼津市大井川港

UPZ圏内（10km以遠）空間線量測定地点及び環境試料採取地点図



(環境放射能の測定)

(2) 中部電力株式会社が行う環境放射能の測定

1 目的

【平常時の環境放射能レベルの把握】

原子力発電所から予期しない放射性物質又は放射線の放出があった場合に、その影響を的確かつ迅速に評価するため、平常時の環境放射能レベルを把握する。

【緊急時モニタリング体制への移行準備】

緊急事態等が発生した場合に、平常時モニタリングの強化及び緊急時モニタリングの実施へ迅速に移行できるよう、平常時からこれらの事態を見据えた環境放射線モニタリング体制への移行準備として測定を行う。

2 試料採取及び測定機関

(1) 試料採取機関

中部電力株式会社及び5市2町（立ち合い）

(2) 測定機関

中部電力株式会社

3 調査期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

4 調査内容

以下の測定項目について、静岡県環境放射能測定技術会が定める「環境放射能測定法」に準じて実施する。

・機器分析によるガンマ線放出核種の放射能（28 地点）

（5 市 2 町において半期に 1 回「上水」と「土壌」を採取し放射能を測定）

測定（採取）地点一覧表

機器分析によるガンマ線放出核種の放射能（28 地点）

試料名	採取時期	採取地点
上水 * 1	平成 29 年 月～ 月	島田市
		磐田市
		焼津市
		藤枝市
		袋井市
		吉田町
		森 町
土壌 * 2	平成 30 年 月～ 月	島田市
		磐田市
		焼津市
		藤枝市
		袋井市
		吉田町
		森 町

* 1 「上水」は、飲食物の摂取制限の判断において必要となる。

* 2 「土壌」は、放射能蓄積状況を把握するために必要となる。

機器分析によるガンマ線放出核種の放射能

(28地点)

◎ : 5市2町庁舎

: 環境試料



浜岡原子力発電所